

「（仮称）コミュニティふらっと高円寺南」の整備に関する説明会(令和4年12月19日開催) 主な意見・質問と回答

1. (仮称)コミュニティふらっと高円寺南について

①説明会での質疑応答

令和5年3月31日

No.	意見	回答
1	コミュニティふらっと高円寺南には食堂や飲食ができるスペースはあるか。	食堂はありませんが、ラウンジで、お茶やジュース、お弁当を食べることができます。また、集会室で、趣味の活動の合間などにお茶菓子を食べることもできます。
2	説明資料のP5に「杉八小ではぐくまれた地域のコミュニティを継承し」と記載されているが、杉八小で行われていたどんど焼き等の地域の行事はコミュニティふらっとでも行われるのか。	公園内には、地域のイベント等に活用できる多目的広場を整備します。 公園で地域の方がどんど焼き等の行事をされる場合は、手続きが必要となりますので、事前にみどり公園課までご相談ください。
3	歌を歌っても問題のない部屋を作ってほしい。	第4集会室は、部屋を地下に配置するとともに、扉の防音化を図っていますので、合唱は可能です。
4	図書館と保育園が併設となるが、防音機能等は問題ないのか。	複合施設は、コミュニティふらっと及び図書館を建物の東側、保育園を建物の西側に配置し、基本的な活動範囲を分けるとともに、鉄筋コンクリート壁等で区画するなど防音対策を講じています。
5	コミュニティふらっとの部屋は現在のゆうゆう高円寺南館の部屋よりも狭くなり使いづらい。地下にも部屋はたくさんあるため、第1第2第3集会室を全て使用できるようにしてほしい。	第2・3集会室は一体使用で約100㎡ほどの広さになりますので、広さが必要な場合にはそちらをご利用ください。 なお、高齢者団体優先枠を設定する部屋・枠数については、現在のゆうゆう高円寺南館及び高円寺中央会議室の利用状況を踏まえて設定します。
6	機能が維持できる根拠は何か。区は機能移転により活動が継続できるようにするというが、これまでコミュニティふらっとに機能移転したことで活動をやめた方々がいる。矛盾しているが矛盾でないとする客観的な根拠を示してほしい。	ゆうゆう館については、コミュニティふらっとにおいて高齢者団体の優先時間枠を設け、その範囲の中で使用料免除で使用することができるようにするなど活動場所をしっかりと確保した上で、機能継承を進めています。但し、ご指摘のとおり、機能継承のタイミングに合わせて活動をやめた団体もあるという事実は把握しておりますので、今後実施するゆうゆう館やコミュニティふらっとに関する検証の中で、活動をやめた理由などを確認しながら、令和5年度に今後の方向性を定めていきたいと考えています。
7	コミュニティふらっとに対して、ゆうゆう館を利用していた団体が8割9割は機能移転できていると判断しているのは区の公式見解か。	過去にゆうゆう館の機能を継承したコミュニティふらっとにおいて、ゆうゆう館で活動していた団体のうち8割以上の団体がコミュニティふらっとに移行していることを確認しています。
8	午後の利用枠を分割せず、午後は一枠で使用できるようにしてほしい。	コミュニティふらっとをはじめとする集施設は、利用機会の拡大や利用者負担の軽減を図る観点から、使用時間区分を4区分に設定しています。
9	活動では準備にも時間がかかるため、枠が2時間では足りない。延長制度についてもよくわからない。使用している側の身になって考えてほしい。	高齢者団体優先枠については、午前は3時間、午後①から夜間までの時間帯は、延長を付けて2時間45分まで活動することができます。2時間45分を超える活動を希望される場合は、2枠続けて申し込みすることも可能です。
10	ラウンジでどのようにして過ごせばいいのか。子供が駆け回って終わりではないか。使う人の身になって考えてほしい。活動の様子を見てほしい。	ラウンジは、予約なしで誰でも（1人でも）利用することができるスペースです。打合せ、読書、勉強、飲食しながらのおしゃべりなど様々な利用が可能です。 （仮称）コミュニティふらっと高円寺南には、100㎡を超える広々としたラウンジを地下1階、地上1階にそれぞれ設けることとしており、ここでは図書館の資料を自由に持ち込み、飲食しながら読書を楽しむことができるようにするなど、図書館との複合施設という特徴を活かした施設としていきます。 なお、地下1階のラウンジには、ヤングアダルト向けの書棚を設け、中・高校生の居場所としても活用していく予定です。

## 2. 現在のゆうゆう高円寺南館について

### ①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	38団体のうち、高円寺北地域から来館している人はどの程度の割合か。	高円寺北エリアからの来館者（団体利用者）は4割弱います。高円寺南エリアからの来館者が最も多いですが、それに次いで多い地域となっています。
2	高齢者団体はこれまで通り防災会議室を使用できるのか。	防災会議室は当面存置する予定です。現在高齢者団体は防災会議室の空き枠を使用料免除にて使用できますが、ゆうゆう高円寺南館の（仮称）コミュニティふらっと高円寺南への機能継承後の運用については、高齢者団体の使用も含め、今後検討していきます。
3	跡地活用の候補として現在検討案はあるか。	ゆうゆう高円寺南館の跡地活用についてですが、当該地は、駅から近く利便性の高い場所となることから、移転が必要な施設や新たな行政課題への対応など様々な可能性があるものと考えており、多角的に検討を進めております。活用できるスペースやスケジュールなど課題も様々あることから、現段階では決まっていますが、今後の施設再編整備の取組を区内全体で進める中で、施設に対する行政需要を見極めた上で決定していきます。今後の検討に当たっては、地域や施設利用者等の皆様からの声を丁寧に聴きながら進めていきます。なお、ゆうゆう高円寺南館の建物は平成20年に建てられており、まだ比較的新しいため、機能継承後に建物を即座に壊すことはありません。
4	跡地活用として一体どのような候補が上がっているのか答えて頂きたい。壊すことがあるのか。	
5	「なぜゆうゆう館をなくさないでほしいと主張するのか」についてどのように拾ってきたのか。また、区としてどのように認識しているのか。	ゆうゆう館の再編整備については、ゆうゆう館という名称がなくなっても、コミュニティふらっとへゆうゆう館の機能を継承し、皆様の活動はそのまま継続していただくことができるようにするものですが、こうしたゆうゆう館の再編整備について、利用者への説明や意見聴取が十分できていない状態でここまで計画を進めてきたことが原因と考えていますので、今後は、皆様からの声を丁寧に聴きながら進めていきます。
6	コミュニティふらっとに移転後に利用をやめた団体について区はどのように把握しているのか。なぜ使わなくなっていったかについてどのように把握しているか。何団体あるか。コミュニティふらっとへの不満をどのように把握されているか。	
7	事実検証をしっかりと行って頂きたい。ゆうゆう館からコミュニティふらっとに機能移転した施設のうち、利用していた団体がどの程度利用できなくなったかについてしっかりと把握してほしい。先ほど8割9割は継続しているというが、1割2割は削ってもよいと区は考えているのか。1割から2割のコミュニティはつぶれてもよいと岸本区長は考えその意思決定をしているのか。機能継承を済ませた5カ所についてはしっかりと検証をしてほしい。仮にゆうゆう高円寺南館が移ることを想定すると、どの団体が異動を希望し、どの団体が移動が難しいと考えているかを聞いてもらいたい。そしてなぜ難しいと思っているのか、なぜ辞めなければならないと思っているのかの声を拾い、そのうえで廃止するか否かの説明につなげてほしい。説明ではなく対話をしてほしい。	ゆうゆう館、コミュニティふらっと共に登録が必要であり、双方の登録状況を比較し、どの団体が移行したかを把握していますが、どのような理由で登録をやめたのかは把握できていない部分があります。ただ、ゆうゆう浜田山館をコミュニティふらっと成田に機能継承した際には、活動場所をゆうゆう高井戸東館に変更した団体があったことを確認しています。ゆうゆう館の間でも移動があるなど、全ての団体が移行しているわけではありませんが、8割以上の団体は移行しています。また、「ゆうゆう館とそれほど変わらない」「違和感なく使用できている」というご意見をいただいています。 コミュニティふらっとへ移行しなかった団体があるという事実については、今後、ゆうゆう館の再編整備について検証していく中で、移行に至らなかった原因を含め、実態を確認していきます。そうした点を踏まえて、利用者のご意見も受け止めたうえで、コミュニティふらっとへの機能継承等において改善できる点は、今後の整備・運用において取り組んでいきたいと思っております。

8	<p>ゆうゆう高円寺南館は全ゆうゆう館の中でも1位2位を争うほど利用者が多いが、どの程度の競争率で部屋を取っているかを知っているか。競争率の高さは使い勝手や交通の便があるからだが、これらを建物を複合化したい等の理由で解決できるのだろうか。抽選会に区の方が出てみてはどうか。洋室1や洋室2において、利用しやすい時間帯に役所の会議がかなり入っているが、この点についてもよく考えてほしい。</p>	<p>ゆうゆう高円寺南館の利用者数がゆうゆう館の中でも多いことは認識しています。行政が洋室を三療サービス等で使用していますが、その頻度は、他のゆうゆう館よりも過多にはなっていないと考えています。  (仮称)コミュニティふらっと高円寺南においては、ゆうゆう高円寺南館での皆様の活動状況や利用実態を確認したうえで、どの程度の利用枠が必要か検討した上で、高齢者団体優先枠を設定します。  なお、ゆうゆう高円寺南館の利用率についてですが、洋室1の利用率を例に取りますと、令和元年度は、午前68%、午後86%、夜間77%でした。一方、高齢者団体の方の利用率は午前36%、午後60%、夜間33%でした。この差の要因は、協働事業や行政使用、高齢者団体の方が枠として確保しながら実際には使用しなかった部分などを除いたことによるものです。特定の曜日や時間帯などにより、希望の日時が重なり抽選になるケースもあり、この場合、競争率が高いと感じる方がいらっしゃるものと考えています。</p>
9	<p>年寄りがいけない場所に施設を作るのはおかしいのではないか。築50年までは現施設で使わせてほしい。</p>	
10	<p>どうしてもゆうゆう館で活動を継続したいが、移動しなければならないのか。</p>	
11	<p>高齢者にとっての活動のしやすさとは、綺麗さや広さではなく、距離感が最も大事であるため、継続してゆうゆう館利用者はゆうゆう館を使用させてもらいたい。また、杉八小跡地の公園には、グランドゴルフやゲートボール等のスポーツを実施できるスペースを作してほしい。</p>	
12	<p>当施設が利用できなくなる背景が分からなかった。私たちは、他の施設の利用料や交通の便を考慮してゆうゆう高円寺南館を利用しており、そのような活用をしている人がいるということを知ってほしい。また、継続してゆうゆう高円寺南館を利用させてほしい。</p>	<p>ゆうゆう館は、身近な地域で高齢者の方の「憩い」、「いきがい学び」、「ふれあい交流」、「健康づくり」の場所として、設置・運営してきましたが、今後の更なる高齢化の進展を見据え、高齢者が地域の様々な方とのつながりを持てるような場を確保する観点などから、多世代型の施設である「コミュニティふらっと」にゆうゆう館の機能を継承していく考えです。  新しい施設は、高円寺駅から道なりに約550mほどの距離です。場所が変わることで施設に近くなる方、遠くなる方が出て、ご不便をおかけすることもあり、その点は大変申し訳なく思いますが、身近な地域で高齢者の孤立化を防ぐことは、区として重要な課題と認識しているところです。</p>
13	<p>団体メンバーは皆、自宅からゆうゆう高円寺南館が近いので利用している。移動するのであれば活動を取りやめなければならない。跡地活用が決まっていなければ、ゆうゆう高円寺南館を残してほしい。また、高円寺駅から杉八小跡地まで7分では到着できない。</p>	<p>(仮称)コミュニティふらっと高円寺南においては、他の世代との交流の機会を創出するなど、高齢者にとっても新たな魅力ある施設としていくとともに、ゆうゆう高円寺南館での活動を継続できるよう運用や設備の充実を図ってまいりますので、ご理解のほどお願いいたします。  ゆうゆう高円寺南館の跡地活用については、現段階では決まっていますが、今後の施設再編整備の取組を区内全体で進める中で、施設に対する行政需要を見極めた上で決定してまいります。今後の検討に当たっては、地域や施設利用者等の皆様からの声を丁寧に聴きながら進めてまいります。  (仮称)杉並第八小学校跡地公園については、公園内に日常の軽運動や遊び、イベント利用等に活用できる多目的広場を整備します。なお、公園を団体でご利用いただく場合には手続きが必要となる場合がありますので、開園後にみどり公園課までご相談ください。</p>
14	<p>移転の場合、参加できないと考える人が半数程度いるため、解散せざるを得ない。そのため、ゆうゆう高円寺南館を残せるのであれば、1年でも2年でも残してほしい。</p>	
15	<p>徒歩7分は誰が歩いて7分なのか。駅からどの程度の距離があるのか。これほど距離が離れているのであれば、送迎バスを用意するなどし、交通の便をよくしてほしい。</p>	
16	<p>杉八小を廃校にし、児童館を廃止し、子どもたちの居場所を奪ったが、同様のことを高齢者に対しても行っているということを確認してほしい。直線距離で400m移動させることが、高齢者の居場所とコミュニティに対してどれほど大事なことなのかを本当に理解してほしい。</p>	

## ②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	ゆうゆう高円寺南館の防災会議室を残すのであれば、集会室1・2も残してほしい。	2-①-10
2	ゆうゆう館はとても交通の便が良いところなので、まだ使える建物ならばゆうゆう館として続けて使用したい。	2-①-10
3	現状のゆうゆう高円寺南館は駅に近く高齢者には使用しやすい。4階を全ていつでも使用できるようお願いしたい。	2-①-10
4	前の区長さんの決定したことです。移転で止めなければならない高齢者のグループがあることを考えてください。新しい区長さんがよく考えてください。あとが決まっていないのなら残してください。くだらない施設を入れないでください。	2-①-10
5	ゆうゆう高円寺南館で実施する抽選会でも、枠を希望通り取れないのが現状です。それだけ希望団体が多いのです。高齢者が多い団体ですので杉八に変われば通えず、会を解散しなければなりません。	2-①-10
6	ゆうゆう館は存続してください。高円寺地域にはコミュニティふらっととゆうゆう館どちらも必要です。せめて検証が済むまでは、ゆうゆう高円寺南館の廃止は凍結・停止してください。	2-①-10
7	8年以上利用させていただいたことで、私どもの健康と友人との親睦が成り立っています。移転することで今まで参加されていた方がどうしても通えなくなる人が多く、会の存続が出来なくなる可能性があります。ぜひゆうゆう館をなくさないでください。	2-①-10
8	区長さん応援しています。前区長にいじられた杉並をこれ以上壊されないようによろしく願いいたします。ゆうゆう高円寺南館の存続を是非お考え下さい。	2-①-10
9	コミュニティふらっとまでが遠いので、行くことが出来ない。	2-①-15

## 3. 区立施設再編整備計画について

### ①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	区長の公約の中ではゆうゆう館の取り組みを止めることとなっているが、ゆうゆう高円寺南館の廃止がなぜ見直されないのかについて改めて理由を聞かせてほしい。	(仮称) コミュニティふらっと高円寺南の整備は、これまで地域の方と共に跡地活用を考えてきたことや既に工事が始まっていることから、計画通り進めていく方針です。区としては、コミュニティふらっとを設置するに当たっては、近隣のゆうゆう館を集約し、機能をコミュニティふらっとに継承していく考えで進めています。そうした考えの中で、ゆうゆう館とコミュニティふらっとという二つの施設を存続させていくことは、財政的な観点からも適切ではないことや、ゆうゆう館の跡地を行政課題への対応として活用していく考えであることが、計画どおり進めていくこととした理由です。
2	なくさないでほしいという人の声を丁寧にしっかりと拾うことが重要であり、しっかりと対話できる環境を作してほしい。検証してからどうしていくのかを検証して頂きたい。	今後の検証に当たっては、利用者の方をはじめ、区民の皆さんの声を幅広く聴きながら、取り組んでいきます。

#### 4. 今日の説明会、その他について

##### ①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	杉八小の解体の際、北側から小学校にダンプカー等が出入りしていたが、付近の道がダンプカーの出入りにより凸凹になっている。区は工事がすべて完了した後に直すというが、危ないので仮でも構わないのですぐに平らにしてほしい。	現場においては土工事による一次掘削作業が終了したところです。6月頃から二次掘削作業を予定しており、土の搬出による車両が通行することとなりますが、今後、道路状況を見定めたうえで対応していきます。
2	高円寺地区では小学校の廃校等により災害時の避難場所が不足している。杉八小は現在960人収容できるがコミュニティふらっと等を建設することにより750人に減少する。災害時の避難場所についてどのように検討しているのか。また、杉四小についても、令和4年4月から5年9月まで震災所の機能を停止するとのことであるが、その間はどのようにするのか。	旧杉八小跡地施設については、これまでと同様に震災救援所機能は継承していきますが、新しい施設の一部を避難所としては使用しない保育園とすることから、震災救援所としての収容人数は一定程度少なくなります。一方で、収容人数の計算には加えていない、既存体育館を残置することで災害発生時は一時的な避難スペースとして活用できるほか、新しい複合施設には、防災倉庫、非常用発電設備、マンホールトイレ等を整備し、防災機能を強化していきます。 収容人数の問題については、震災救援所の許容人数が超えてしまった場合に備えて、都立学校及び私立学校と補助代替施設に係る協定を締結していますので、万が一の際はこうした施設に協力を要請し対応していきます。 旧杉四小については、改修工事の影響により令和5年9月まで震災救援所としては使用できない状態となっていますが、近隣の震災救援所である高円寺学園と連携を図るとともに先述の補助代替施設を活用し対応していく考えです。

##### ②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	地下に避難場所を設置したらいいのではないかと。(ミサイルの時代に)	—
2	説明会の会場はもっと広い施設で行ってください。密で感染が心配です。	—

※「関連する回答No.」に該当がないご意見につきましては、参考意見とさせていただきます。

## 5. 岸本区長から（説明会を終えて）

- ・ご参加いただいたこと、ご意見をお寄せいただいたことにお礼申し上げます。
- ・説明会を通じて、現実味や皆様の声、利用者の感覚をお聴かせいただき、知ることが出来ました。感謝申し上げます。
- ・これまでもゆうゆう館の所管課では受付業務受託法人（竹箒の会）と協力しながら様々な調査を行ってまいりましたが、把握しきれなかった部分や区役所の中には見えない部分が沢山ありました。私たちはこのような事実を認めるところから始めなければならないと思います。
- ・JR高円寺駅から新しく建設する（仮称）コミュニティふらっと高円寺南への所要時間について、徒歩7分という表記は取りやめます。不動産的表記にならないような書き方で表現したいと思います。
- ・ゆうゆう高円寺南館の代替活用案が決まっていないことは明らかな事実であり、これはむしろ私たちには時間があるともいえます。そのため、当初の計画では令和7年2月まではゆうゆう館を使用できる想定ですが、この2年2か月を皆様とともに有効な時間としなければならないと思いました。
- ・利用の実態や抽選会での様子を私たち行政がしっかりと把握し理解する必要があると思います。
- ・2年2か月の時間の中でゆうゆう館の未来を考えていき、その時点でも代替活用案が決まっていなければ、ゆうゆう館の利用を継続できる可能性もあるわけです。そのような希望を、私は区役所の中で議会を通じて実行してまいります。地域社会の中では今後とも皆様の声を上げて頂きたいと思います。
- ・今までゆうゆう館存続の声や要望を様々頂いておりますが、現在のやり方では皆様の要望やグループの想いを把握しきれないということが私の感想です。区長への手紙は非常に重要であり、全て読ませていただいておりますがこれは蓄積させることが困難です。そのため、「対話」の方法について、2年2か月の間、皆様のご意見を継続的に聴き取ることができる仕組み・方法について導き出さなければなりません。他の地域にはその地域独自のエネルギーや想い、性格がございますので、方法は一つである必要はなく、その地域ごとのやり方があるかと思っております。そのため、特に事業者の方のご協力のもと、「どのような形が最も適しているのかを考えていきたい」ということが本日の私の宿題です。
- ・検証の方法が肝であるということは私含め職員皆、強く思っており、今日の説明会で多くのヒントをいただいたと私は思っております。
- ・この施設のユニークさが非常によくわかりました。新しい施設はいいところになると思いますし、いいところにしていかなければならないと思います。しかし、それと今あるものを置き換えるかどうかということはまた別の議論であると私は思っております。その施設の「建物」や「機能」ではなく、そこを利用している「人」と「コミュニティ」を中心に見なければ、公共施設の管理運営は出来ないと私は信じておりますので、建物だけを見るのではなく、まさにその施設を利用している人にとっての施設の必要性を中心に、今後杉並区の高齢者だけではなく様々な世代の人々が使えるコミュニティづくり・健康づくりの場を考えて参りたいと思いません。